

カリキュラムはこうしてつくられる (二)

静岡大学教授 鈴木信政



二、カリキュラムをつくる手順(つゞき)

3、環境調査

現在の社会にはどんな生活機能或は人間活動の領域があるかその研究調査が大切である。この生活領域は即ち子供の学習領域を示すものである。社会学者スペンサーが人間の生活機能を分類して、

- 生命・健康の維持
- 物質の獲得
- 子女の養育
- 公民的活動
- 趣味・娯楽の活動

を挙げている。そして今日ヴァージニア案とかサンタ・バー

バラ郡案などの新カリキュラム運動に大きな貢献をなしている。生活機能を決定する場合には、

- 生活の自然のまゝに項目を列挙してよい。
- 小さな地域社会にとられれず視野を広くする。
- 人間性の調和的発達を念とする最近社会科学偏重の嫌があるが特に注意を要する。

さて環境調査の基礎資料の例を左に掲げてみると、

(1) 子供の家庭環境の調査

国児の通園地域

N.O.	町名	人数	N.O.	町名	人数
1			3		
2			4		

項目	人数	項目	人数	項目	人数
環境概評 %	可(別荘、住宅地) 34	普通(普通住宅)	23	不可(繁華商店街)	12

保護者の職業

職分類	内容	人数	
		実数	%

父母の職業……学歴

性別 学校名	父		母		計	
	実数	%	実数	%	実数	%

園児の出生當時の父母の年齢

性別	年齢	59~55	54~50	49~45	44~40	39~31	34~30	29~25	24~20	計
		父	実数	0	1	3	6	21	23	14
父	%	0	1	4	9	31	35	20	0	100
母	実数	0	0	0	2	9	15	26	16	68
母	%	0	0	0	6	14	22	36	24	99

兄弟数

組別	人数	独	2	3	4	5	6	7	8	計
		年長組	実数	2	8	13	11	4	3	1
年少組	%	5	16	30	27	10	7	2	2	99
年少組	実数	1	9	9	5	1	1	0	0	26
年少組	%	4	35	35	19	4	4	0	0	101

父母の賢否

項目	年長組		年少組		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
父母共に健在	37	88	26	100.0	63	91.3
父のみ	1	2	0	0	1	1.4
母のみ	1	2	0	0	1	1.4
養父母	2	4	0	0	2	2.9
義父母	1	2	0	0	1	1.4
祖父母	1	2	0	0	1	1.4
計	43	100.0	26	100.0	69	99.8

両親の家庭に於ける同居人（使用人が主）

組別	人数		14	
年長組	7	5	3	0
年少組	6	3	2	1
計	13	8	5	1

両親の同居中の順位

組別	順位		長子	中位	末子	独り子	計
	実数	%					
年長組	1.2	12	17	2	43	100.0	
	27.9	27.9	39.5	4.7	26	99.8	
年少組	5	10	10	1	69	99.8	
	19.2	38.4	38.4	3.8	3	69.9	
計	24.6	31.9	39.1	4.3	69.9	99.8	

両親の生れ月

組別	月												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
年長組	4	0	0	2	5	1	2	3	2	5	5	0	26
年少組	2	2	3	5	7	1	2	3	3	5	7	4	43
計	6	2	3	7	12	2	4	5	5	10	9	4	69

両親の生育地

組別	生育地					計
	市内	市外	他県	計	計	
年長組	39	1	3	43	43	
年少組	32	1	3	36	26	

(ロ) 幼稚園環境の調査

幼稚園は「適当な環境を与えて」子供の心身の発達を助長することを目的としているから、園内外の環境実態調査や施設・設備の調整などはい、保育の原動力となる。

幼稚園の位置

県庁所在地の官庁街
 附属中学校、附属小学校に隣設、学校地帯の中にあつて環境は比較的閑静

職員数

	主事	教諭	助教諭	用務員	計
男	1	0	0	0	1
女	0	3	1	1	5
計	1	3	1	1	6

園児数

	青組(年長)	黄組(年長)	赤組(年少)	計
男	9	11	11	31
女	12	11	15	38
計	21	22	26	69

(ハ) 見解調査

前述の事実調査とは違って、この調査は世論や父兄の意見・希望等にわたるので、相当の経費・労力・時間などを必要とする。

○父兄の幼稚園に対する支持
新教育について

(調査人員 59名)

項目	品等	実数	%	項目	品等	実数	%
言葉遣い	よくなつた	18	31	物事について	よく質問する態になつた	42	71
	変わらない	31	53		興味の範囲が広がつた	26	44
	わるくなつた	10	17		理屈を言うようになつた	31	53
挨拶	よくなつた	41	69	常識的になつた	9	15	
	変わらない	19	32	辛棒強くなつた	20	34	
	悪くなつた	0	0	普通	37	63	
行儀	よくなつた	24	41	持続性	倦つぱくなつた	2	3
	変わらない	31	53		差がかしがらない	18	31
	悪くなつた	5	13		仲よく遊べる	22	37
物の扱い	よくなつた	38	64	社会性	大勢の友達と遊べる	32	54
	変わらない	19	32		図々しくなつた	0	0
	悪くなつた	2	3		前より半費がかかる	7	12
遊びについて	乱暴になつた	6	10	経費	変わらない	39	55
	倦き易くなつた	1	2		あまりかからない	7	12
	いろいろのことをしてあそぶようになつた	53	90		幼稚園に対する関心が高まつた	39	66
発表表	よくなつた	47	80	PTAが出来て	変わらない	11	18
	変わらない	10	17		不満である	0	0
	悪くなつた	1	2		賛成	39	66
性格	明朗になつた	29	50	新育教に就て	わからない	14	24
	怒りつぱくなつた	2	3		不賛成	2	3
	我が強くなつた	25	42				

子供に對する希望

種別	項目	実数	種別	項目	実数	種別	項目	実数
性質	子供らしい純真さ	2	社会性	自立的な子に	2	道徳	善惡の判断	1
"	のびのびした子	4	"	協同的な子に	2	情緒	辛癖すよい子	4
"	素直な子	6	"	責任感のある子	1	其他	身心の健全な子	3
"	明るい子	7	健康	健康な子	10	"	祖創性	1
社会性	社会性の富んだ子	6	"	活潑な子	5	"	音楽をのびしたい	2
	積極的な子に	3	道徳	正直な子	2	"	無記名	15

嫌たい習慣、改めたい習慣

嫌たい習慣			改めたい習慣		
項目	実数	項目	実数	項目	実数
自主自律	14	衛生的な儀	3	はをみがく	2
後仕末	10	集団生活に馴染ませる	3	きまり正しい生活	1
言葉ずかい	5	動作を敏捷に	3	探究心	1
挨拶	5	早起	3	言いつけを守る	1
礼儀	4	沈黙	3	忍耐力	1
積極性	4	明朗	2	すききらい	1
項目	実数	項目	実数	項目	実数
片附遣	6	甘え占める	2	言いつけをまもらない	1
後言葉	6	礼指をむる	1	返事をしない	1
我偏泣	5	口唇をなめる	1	注意力が少ない	1
泣食虫	3	おしやべり	1	食事の作法	1
泣かみ	3	おしやべり	1	人の顔色をみる	1
買信がない	3	おしやべり	1	せつかちにする	1
買信がない	2	おしやべり	1	ものをそまづにする	1
積個性がない	2	おしやべり	1	早ね早起きが出来ない	1
お小遣をねだる	2	大勢の友達と仲よくない	1		

以上で社会の要求と子供の要求との二つの面からの大凡の調査——実態調査・見解調査等——は一応終り、夫々その基礎資料を得たので、次に此等の基礎資料に基いて子供に好ましい問題を作る段取りとなるのである。調査の場合に必要な参考書は最近店頭に数多く出ていて、却つてその選択に迷うことが多い。就中、山下俊郎著「幼児心理学」・後藤岩男著「児童理解の方法」などは活用するところ多いと思う。

身体充実度調査について一言して置きたい。身体の發育や栄養の良否は医師の診断によつて知るのが普通とされてゐるが、ブルケー氏新栄養学説 Neue Ernährungslehre von Pringet に従つて $3 \times 10 \times 10$ 体重 $4 \times 10 \times 10$ リットル \times Peil-disi によつて觀察すれば、一醫師の手を俟たなくても子供の發育や栄養の状況をはつきりした数で知ることができる。

「子供の研究講座」の中で、竹内薫兵氏が「子供の体の衛生」について述べこの充実度のことを説明し、日本の幼児のペリデイジは九三——九五、児童のそれは九四・五——一〇〇なくてはならないと言つてゐる。この身体充実度の低い子供を専門小児科医の診断にかけてみると、異常な者は殆ど無く、呼吸器疾患・心臓疾患・先天性疾患・弱体質・筋無力症・蛔虫保持等の患者であることが多い。体重は健康のベロメーターとも謂われるもの、その体重と坐高を用いて測定できるので、割合に手軽く利用され得ると考へる。その解説や数表のことに就ては他の機会に譲り、今回は頁数の都合で省略させて頂き度い。

4. カリキュラムの構成

先づ社会機能を縦軸にとり、子供の発達系列を横軸にとつて組合せる。機械的に陥り生活現実から離れないようにするために、実態調査で得た資料と照し合せて問題単元を選定する。問題単元を選定するときの一般的標準として次のことが考えられる。

- 子供の実際生活の中に在つて、子供の関心と探求意欲を十分そそるような個人的なそして社会的な問題たること
 - 子供の大部分に共通的であつて、共同学習や共同研究に向くもの。
 - 広い関係や錯綜をもち種々の見解を含んで、多様な活動を要するもの。
 - 知識・技能・鑑賞・態度・行動等の学習目的をなるべく多様にしかも有機的統一に於て達成できるもの。
 - 特殊の基礎訓練や技能練習を含まないもの。
- さて問題単元を作成する前提として、

- ① 経験内容の選定
 - ② 経験内容の範囲と配列
- について、考へなければならぬ。

① 経験内容の選定

選定の手掛りとしては社会の要求・幼児の発達・園児の実態の三つの面から見る。

社会の要求	幼児の発達	経験内容
<p>個人的能力</p> <p>学習意欲をもつ</p>	<p>家庭内にとどまらず、もつと広い社会的経験を始める用意が出來ている。二十分程度指導を受けて集團で遊ぶことが出来る。</p>	<p>見(自然観察)一経験を拡める遊び・こつこつを中心とする自然学習を行う。</p>
<p>明確に話す</p>	<p>話し言葉の一応の完成がなされ、発音の誤り、片言言い廻しの誤りも直される。接續詞、てにをは、従属文も現われ、羅列文は少くなる。非社会的言語から移行して、人に分る話が出来が、未だ理に合わない無邪気な話である。語彙が豊富になる。</p>	<p>話し合い(こつこつ遊び)を通して正しい話(こつこつ遊び)しことばを自然に作つて行く。豊富な経験を与えて語彙を増す。</p>
<p>能率的に読む</p>	<p>眼と筋肉の協応動作が確立してないので、読む操作が困難である。この時期程、人に読んで貰い度がる時期はなく、読んでふりをしてそらんじていることがよくみかけられる。六才以後によめるようになる。</p>	<p>自分の名前が読めるように指導する。絵本をよんできかせる。</p>
<p>効果的に書く</p>	<p>共応動作が発達していないので、五才児は書くことは困難であるが、字や数字をうつすことが好きで、製作物にも字をサインしたが、六才児は書くことが好きで、郵便葉書、名前、日附等書くが、小筋肉の発達はまだ出来ていないので、速く、多くの字を書くことは出来ない。</p>	<p>五才の終りには自分の名前が書けるように指導する。</p>
<p>数えたり計算したりする</p>	<p>大き、形、平面と立体の区別は出来る。方向や位置には無頓着で関係判断が出来ていない。昨日、今日の区別は出来る。現在より離れたものの計量は出来ないが、身近な事の検測は出来る。寝る時間、お八つの時間は覚えられ、週時間の正しい概念は未だ九才後でなければ出来ない。数を数えることが好きで、十以下の数概念は可能である。</p>	<p>数概念(十以下)を確立する。数量の経験を与える。</p>
<p>聴き方、視方に熟達する</p>	<p>音楽・絵・運動についての批判が可能になる。話をきくのを好み、相手のいうことをきくことが出来る。</p>	<p>音楽・絵画製作、リズム等の鑑賞をする機会を与える。お話をきかせる。</p>

健康及び疾病に関する基礎的事実を理解する。	疲れても自覚しない。病気の時にだけ健康に関心をもつ。独りの時は危険に注意するが、保護者が附いていると油断する。	健康検査を行う。休息が必要である。危険に近寄らないように指導する。
健康の習慣をみにつけている	六才までに基本的習慣の確立が可能である。 (食事、着衣、排泄、独りで寝る、手洗い、口ゆすぎ、洗顔、髪、歯みがき等) 臼歯が五才で生え始める。背骨の発達は五才で成人に近づく。	基本的習慣の確立を期す。歯みがきを始める。姿勢の指導を行う。
公衆の健康の増進をはかる	教えれば人前で咳をしないこと。他人のハンカチ、コップを使い分けること。交通道徳を守ること等が可能である。	咳の仕方等、公衆衛生の指導をする。交通道徳を守らせる。
娯楽に参加する	大筋肉の発達めざましく統制が可能になる。従って、全身運動を含むあらゆる活動をしたがる。簡単なルールで集団遊びが出来る。	豊富な戸外運動が出来るように設備と時間を与える。集団遊びの機会を与える。
知的興味をもち、餘暇を利用するために精神的糧をもつ	時間的に現在、空間的に直接関係のあるすべての物に興味をもつ。過去の文化遺産には関心はない。簡単な科学的説明に興味をもち、偽りと真実の区別を知りはじめる。考えは具体的で、空想も入るが抽象的なことは考えない。	豊富な経験と環境を与えられ、自己の興味に基づいて一定の目的をもつた仕事(遊び)に打ち込み、全思考力を発揮して、やりとげる機会を与える。絵本に興味をもたせる。
美的興味をもち、美を鑑賞したのしむ	精力的、好奇的で芸術経験は直接感覚機関による。芸術的興味は考えの表現よりも活動と素材にある。抽象作用が働き、同じ色同じ形を集めることが出来る。絵は目的を持って描くことが出来る。絵のまとまりの感受力の発達はめざましい。音楽の感受性は敏感で、物語りと音楽の連絡を好む、遊戯に現わすことも出来る。お話をきいて劇化するのを喜ぶ。	お話を具体的事物を与えて、経験世界を拡張し、自発的に自由に表現する機会と材料を与える。

社会の要求	幼児の発達	経験内容
<p>社会参加の能力 ① 対人関係</p> <p>人間性を尊重する</p> <p>真摯な友情をもつ</p> <p>他人と協力して遊び、且つ働くことが出来る</p> <p>礼儀に適った好ましい行動をとる</p> <p>家庭を一つの社会的施設と見做している</p> <p>家庭の理想を保持する</p> <p>家政に熟達している</p> <p>民主的な家族関係を保持する</p> <p>社会正義に富んだ市民となる</p>	<p>他人の権利を幾分認めるが、未だ他人に機会を与えようとせず、自己中心的で独占しがちである。</p> <p>他の子供と遊び度強い要求をもつていて、人を喜ばせたいと云う気持が強い。小さい子供への愛情が出てくる。頼れば喜んで物をわけたり、世話をしたりする。</p> <p>五才児はひつたりたり、けつたりしないで仲良く遊べる。自分の行為と周囲の物や人との関係を理解し始める。集団活動には指導者の人物指導力によるのでなく、ただ好き嫌いで参加する。集団の作成は人種・経済的地位等にとられないで行われる。</p> <p>五才児は他人から注意を向けられ度いという要求をもつ。大きな集団からの愛情や尊敬を得ようという要求はないが、母親や周囲の人の善いと認めることをやり度がる。</p> <p>両親を絶対的なものとみてゐる。養育者であれば血のつながりは問題ではない。</p> <p>家庭の影響力の大きい時期である。</p> <p>家族のあらゆる活動に参加しようとする。他人を助けたり、餘計な世話までして役立つものになろうとしている。お手伝い（留單なお使い、家政）が出来る。</p> <p>家庭内の家族の関係が幼児の性質に影響する。</p> <p>まだ結果論的判断しか出来ない。大人の判断が幼児の道徳的判斷の基準となる。正しいことと人が認めることをすることが好きである。</p>	<p>先輩と仲良く遊び助け合う機会を与える。年少組を可愛がり、小さい人の世話をする経験をもたせる。</p> <p>先輩と仲良く遊び助け合う機会を与える。年少組を可愛がり、小さい人の世話をする経験をもたせる。</p> <p>集団あそび、共同製作、ごっこ遊び、グループ活動の機会を与える。</p> <p>いろいろの挨拶、応待を身につけさせ、お客様を招く経験、見学に行く経験等をさせる。</p> <p>家庭へ感謝の気持をもつような経験をさせる。</p> <p>自立生活に導く。</p> <p>お手伝いをさせる。</p> <p>一貫した命令が行われるようにし、不公平なことが行われないうようにする。</p>

<p>不満足な状態を矯正するために社会的な活動をする</p>		<p>喧嘩や困ったことについて話し合いの機会をもたせる。</p>
<p>批判的判斷力を持ち、宣伝を防禦する</p>		<p>話し合いの機会をもたせる。</p>
<p>真面目な意見の差異を尊重する</p>		<p>公園の使用法を指導し、緑の週間等の行事に参加させる。</p>
<p>国家資源を尊重する</p>		
<p>一般福祉への寄与をもつて科学的進歩の尺度とする</p>		
<p>国際社会の協力者となる</p>		
<p>法律を尊重する</p>	<p>規則を漠然と理解し、義務観念から命令をきくことが出来るが、お互いの協定した規則の出来るのは七・八歳である。</p>	<p>おやくそくを守る習慣をつけさせる。</p>
<p>経済的な理解をもっている</p>		
<p>自己の公民的義務をうけ入れる</p>	<p>自分の責任を果すことに満足を感じ、大人の模倣をしたがる。</p>	<p>お当番制を採用する。</p>
<p>民主的な理想に基いて行動する</p>		
<p>② 経済的能力</p>	<p>責任をもたせて、おかたづけ等の仕事をさせることが可能になつてくる。</p>	<p>おかたづけ、飼育栽培、お手伝いの経験をさせる。</p>
<p>勤労を尊ぶ</p>		

さまざまな職業を理解する	周囲の社会生活の模倣をして、遊び度の要求をもっている。	身近な職業の模倣をして遊ぶ。
自己の職業を巧みに選択する	各々個性をもっている。	興味や能力に応じて自ら選択して自由に遊ぶ経験をもたせる。
選択した職業に成功する		一つの仕事をやり遂げるようにさせる。
自己の仕事の能率を維持し改善する		分業で仕事を行わせる。
自己の仕事の社会的価値を評価する		幼稚園のために協力的な仕事をする機会を与える。
自己の生活の経済化を計る	自他の持物の区別が出来る。	持物を大切に取扱うように指導する。
自己の支出の標準を立てる	お金の価値が分るようになる。	無駄使いをしないように指導する。
買物の仕方を心得、巧みに行う	簡単な買物のお使いが出来るようになる。	買物ごっこ、簡単な買物の経験をさせる。
自己の利益を擁護するために適当な対策を立てる		

② 経験内容の範囲と配別

(一) 範囲

社会の要求と子供の発達とを照合した表と、実態調査とを総合してみると次のような結果がわかる。

◎ この時期の子供は家庭内の生活だけでは満足せず、友達との生活・社会生活の模倣による学習を始める用意ができてゐる。

◎ 子供の生活の場合は主として家庭であり、家庭に凡てを依存して居て独立した社会生活を理解し営む能力はない。子供の社会は家庭と直接交渉のある近隣の社会の場に限定される。
 従つて経験内容は子供の家庭生活・友達との遊び仲間・近隣の生活の範囲から、その経験を通して個人的能力・社会参加の能力が効果的に養われるものを選ぶのが望ましい。

生活の場合		社会生活	家庭生活
社会生活	幼稚園 近隣	遊戯集団	近隣
生活会合	社会	家庭に於ける衣生活	家庭に於ける食生活
機会	能力	家庭に於ける住生活	家庭に於ける交際
経験	内容	家庭に於ける団楽	生命の保護
① 家庭に於ける衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ○着衣の自立 ○お人形さんごっこ ○着替あそび ○お人形の洋服作りの経験 	① 生命の保護	<ul style="list-style-type: none"> ○健康習慣の確立 ○交通安全をまもる経験 ○危険に対して注意する経験 ○病気を予防する経験
② 家庭に於ける食生活	<ul style="list-style-type: none"> ○食事の際の自立、食習慣の確立 ○ままごとの経験 ○お菓子作りの経験 	② 自然及社会資源の保護利用	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○礼儀作法 ○お客様ごつこの経験 ○お誕生日等にお友達を招く経験
③ 家庭に於ける住生活	<ul style="list-style-type: none"> ○おかたづけの習慣の確立 ○お掃除の手伝い ○おうちごつこの経験 ○お人形の家作りの経験 	③ 家庭に於ける団楽	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭外であつたことを話す経験 ○小さい者の面倒をみる経験
④ 家庭に於ける交際			<ul style="list-style-type: none"> ○花や木を大切にする経験 ○身辺の動植物の理解を助ける経験 ○身辺の諸設備を上手に使う経験 ○近隣の社会施設を上手に使う経験

<p>③ 物の生産・分配・消費</p>	<p>○花壇の手入れ ○動物飼育 ○玩具其の他の生産の経験 ○身近かな職業の模倣遊びの経験 ○身近かな職業の模倣遊びの経験 ○保育材料其の他の分配とそれに対する感謝 ○物を上手に使う経験 ○買物の経験 ○物の売買の模倣遊びの経験</p>
<p>④ 交通・通信・運輸</p>	<p>○異物を利用する経験 ○乗物あそびの経験 ○乗物を理解する経験 ○おたよりを出す経験 ○郵便の模倣遊びの経験 ○電話を利用する経験</p>
<p>⑤ 厚生・慰安・美的表現</p>	<p>○好きなものを選んで遊ぶ経験 ○お友達と団体遊びをする経験 ○いろいろな楽しい行事をたのしむ経験 ○食後などの餘暇をたのしく過ごす経験 ○庭やお部屋を掃除する経験 ○お部屋を花や絵等で飾る経験 ○設備を汚さないで使う経験 ○身体や身のまわりをきれいにする経験</p>
<p>⑥ 政治・交際</p>	<p>○友達と仲良く遊ぶ経験 ○年少組を可愛がる経験 ○グループ活動の経験 ○お当番制の経験 ○生活のきまりをまもる経験 ○おやくそくをまもる経験</p>
	<p>○話し合いをする経験 ○計画を立てる経験 ○役割をきめる経験 ○合衆の経験 ○挨拶を覚える ○お母様や年少組を招待する経験 ○贈物を上げたりお見舞をする経験</p>

(11) 配列

- ◎ 経験内容は子供の心理的発達を顧慮し、能力に応ずるように配列する。
- ◎ 経験内容は子供の経験領域を顧慮し、興味に基づいて配列する

家庭生活	家庭生活の単純な模倣	—— 家庭の諸活動への参加
生命の保護	基本的個人的健康習慣の確立	—— 公衆的な健康・習慣・豫防への関心
自然資源の保護利用	身辺の動植物の観察	—— 動植物の飼育・栽培への参加
社会資源の保護利用	近隣の社会施設の単なる利用	—— 近隣の社会施設の単純な模倣
物の生産・分配消費	物の使用・大工等の簡単な職業の模倣	—— 物の生産・売買の模倣・買物の経験
交通・通信・運輸	乗物の単なる利用	—— 交通・通信機関の利用経験の再現
美的表現	自己の領分の美化	—— 保育室等共用の場の美化
厚生慰安	家庭行事の受動的な享楽	—— 行事への参加、社会行事の理解
政治	仲良く遊ぶ経験	—— グループ活動・お当番制・話し合いの経験
交際	楽しい時をもつ経験	—— 人をたのしませる経験

◇ 単元の選擇と配列

そこでいよいよ単元の問題に入る。

前述の経験内容の中から、園児の実態調査資料に照し合せながら好ましいものを選ぶ。例えば靜大附属幼稚園の場合には、以上の他に比較的恵まれた施設と設備をもち、一組の園児数は約二〇名であり、研究機関・教員養

成機関として幼稚園であり、父兄の絶對的支持を得ている等の特殊性をとり入れて独自の単元を選び、その取扱方・指導法に工夫を凝らしている。

単元の種類

主単元	副単元
① 社会活動をみることを中心としたもの ② 社会活動の模倣を中心としたもの ③ 社会生活への協力奉仕を中心としたもの ④ 自然現象を中心としたもの ⑤ 遊びのリクリエーションを中心としたもの	⑥ 生活問題を中心としたもの 幼稚園生活・お辨当・梅雨・夏休み・高さ比べ・冬休み・寒さに負けない。
農学校見学・水族館見学・暮の町見学。 兎の飼育・動物園ごっこ・時計屋さんごっこ・水旅館ごっこ・お舟ごっこ・展覧会 お家調べ・お店屋さんごっこ・運動会・汽車ごっこ・交通巡查あそび・クリスマス 音楽会・郵便ごっこ・電話ごっこ・劇あそび・歓迎会・卒業式。 卒業製作。	花摘み・つばめ・おたまじやくしやくい・雨ふり・かたつむり探し・海水浴・シヤ ボン玉遊び・虫とり・芋掘り・木の葉拾い。 こどもの日・七夕まつり・お月見・お正月・まめまき・ひなまつり・ギニョールの 会・遠足(鷺園山・清水山・安倍川・狐ヶ崎遊園地・草薙運動場)。

因みに近頃では小単元主義から大単元主義に移つた傾向ではあるが、実際面からみて大単元主義のみにとらわれない方が望ましく。

単元の配列

- ◎ 単元は子供の経験領域の広まるにつれて、社会活動の模倣を多くとり入れる。
- ◎ 単元は子供の発達につれて、断片的な活動から組織的な協力的なものへ移行する。

第一保育期	第二保育期	第三保育期
幼稚園生活身辺の動植物	家庭の再認識と生産・消費 交通	通信と協力的な幼稚園生活
観迎会・兎の飼育・農学校見学・動物園ごっこ・時計屋さんごっこ・梅雨・水族館 ごっこ等。	お家調べ・お店屋さんごっこ・汽車ごっこ・交通巡查あそび・暮の町・クリスマス。	郵便ごっこ・電話ごっこ・お正月・劇あそび・ひなまつり・卒業製作

單元配當表

月	單元	1	2	3
四月	新人園児 歓迎会	七	八	日 豫定 保育 数
五月	こどもの日	四	二〇	日 豫定 保育 数
六月	時計屋さん ごっこ	九	一七	日 豫定 保育 数
七月	七夕まつり	六	一	日 豫定 保育 数
八月	海水浴	一	一	日 豫定 保育 数
九月	お家しらべ	一	三	日 豫定 保育 数
十月	お店屋さん ごっこ	一七	六	日 豫定 保育 数
十一月	遊のりも びの	一七	一	日 豫定 保育 数
十二月	暮の町	三	一〇	日 豫定 保育 数
一月	お正月	六	三	日 豫定 保育 数
二月	まめまき	四	一五	日 豫定 保育 数
三月	まつひな	三	一	日 豫定 保育 数
四月	運動会	一七	三	日 豫定 保育 数
五月	木葉拾い 落葉	六	一	日 豫定 保育 数
六月	クリスマス	一四	一	日 豫定 保育 数
七月	郵便屋さん ごっこ	一〇	一	日 豫定 保育 数
八月	電話ごっこ	三	一	日 豫定 保育 数
九月	卒業製作	一	一	日 豫定 保育 数
十月	お祭り	一七	一	日 豫定 保育 数
十一月	遊のりも びの	一七	一	日 豫定 保育 数
十二月	暮の町	三	一	日 豫定 保育 数
一月	お正月	六	一	日 豫定 保育 数
二月	まめまき	四	一	日 豫定 保育 数
三月	まつひな	三	一	日 豫定 保育 数
四月	お店屋さん ごっこ	一七	一	日 豫定 保育 数
五月	遊のりも びの	一七	一	日 豫定 保育 数
六月	木葉拾い 落葉	六	一	日 豫定 保育 数
七月	クリスマス	一四	一	日 豫定 保育 数
八月	郵便屋さん ごっこ	一〇	一	日 豫定 保育 数
九月	電話ごっこ	三	一	日 豫定 保育 数
十月	卒業製作	一	一	日 豫定 保育 数

単元の展開

子供の活動を有効適切にし、生氣あふれる保育となるかどうかは実はこの展開の如何にかゝる。単元の展開について、静大附属幼稚園では次のようにまとめているが、これは資料単元としても活用でき、参考に供せられ得るものではないかと思う。

一、導 入——幼児の興味が喚起されるように自然に誘導する。

種 別	教 数	種 単	元	名
①話し合いから入るもの	20	歓迎会・農業学校見学・時計屋さんごっこ・水族館見学・お家調べ・お土産さんごっこ・暮の町・お正月・郵便ごっこ・電話ごっこ・卒業製作・卒業式・幼稚園生活・お弁当・夏休み・梅雨期の野菜果物・高さ比べ・芋掘り・冬休み・寒さに負けない。		
②遠足・見学から入るもの	7	兎の飼育・動物園ごっこ・水族館ごっこ・お舟ごっこ・汽車ごっこ・巡査ごっこ・クリスマス。		
③お話・紙芝居・絵本によるもの	5	こどもの日・七夕まつり・お月見・豆まき・ひなまつり。		
④自然の環境に誘発されるもの	7	花摘み・つばめ・雨ふり・かたつむり・おたまじやくしすくい・虫とり・落葉・木の実拾い。		
⑤人為的環境設定の伴うもの	4	動物園ごっこ・お家調べ・郵便ごっこ・劇あそび。		
⑥小学校生徒の刺戟によるもの	3	展覧会・運動会・凧あげ。		

二、目的——「これをして遊ぼう」というはっきりした目的を持つて、毎朝それを楽しみに登園する
 三、計 画——幼児は見透しを持つて大きい計画を立てることは出来ないが、教師の提案を皆で話し合つて当座の計画を立てる。
 四、分 業——完全な分業ではないが、四月から徐々に加味して卒業製作まですすめて行く。

①分業の行われないもの	15	花摘み・遠足・農学校見学・つばめ・梅雨・海水浴・シャボン玉遊び・ギョールの会・虫取り・お月見・芋掘り・運動会・落葉拾い・暮の町		
②分業が少し行われるもの	6	歓迎会・幼稚園生活・兎の飼育・こどもの日・七夕まつり・豆まき。		
③分業の行われるもの	16	動物園ごっこ・時計屋さんごっこ・水族館ごっこ・お舟ごっこ・展覧会・お家調べ・お土産さんごっこ・汽車ごっこ・交通巡査遊び・クリスマス・お正月・郵便屋さんごっこ・電話ごっこ・劇あそび・ひなまつり・卒業製作		

五、見 学——地理的に恵まれているのであるべく多く採り入れる。

①社会見学の行われるもの	11	兎の飼育・農学校見学・時計屋さんごっこ・水族館ごっこ・お舟ごっこ・お家調べ・お店屋さんごっこ・汽車ごっこ・交通巡査遊び・暮の町・郵便屋さんごっこ・ひなまつり
②自然観察の行われるもの	13	花摘み・つばめ・農学校・おたまじやくしやくい・海水浴・虫取り・芋掘り・落葉拾い・遠足・安倍川・鷹巖山・清水山・草薙運動場・狐ヶ崎遊園地

六、資料蒐集——関係のある絵・絵本・写真をもつて来たり実物をもつて来て観察したりする。

七、構成的創作活動——劇あそび・ごっこ遊び・音楽リズム・絵画・製作等は殆んど全部の単元活動の主体である。

八、終末活動——一つの遊びのまとめとしての楽しい経験をもつ。

①創作活動によつて経験整理をするもの	9	兎の飼育・おたまじやくしやくい・虫取り・芋掘り・落葉拾い・お正月・つばめ・花摘み・シャボン玉遊び
②楽しい会を持つもの	7	こどもの日・七夕まつり・お月見・運動会・まめまき・海水浴・ギニョールの会
③ごっこ遊びで終るもの	7	動物園ごっこ・時計屋さんごっこ・お店屋さんごっこ・汽車ごっこ・交通巡査遊び・電話ごっこ・郵便屋さんごっこ
④招待するもの	6	観迎会・水族館ごっこ・展覧会・おうち調べ・クリスマス・音楽会・ひなまつり
④報告会をするもの	1	卒業製作

◇ 週の計畫と一日の計畫

上述のようにして、年計画と月計画を立てれば、次の週の計画、それから一日の計画を立案するであろう。園により保育担当者によつて、夫々適切な計画がなされる筈のものであるが、その計画のあらわし方即ち形式的な面は大体共通であろうから、参考までに具体例を挙げておく。

週の計画

〇〇日水曜日	〇〇日火曜日	〇〇日月曜日	日月
おうちしらべ			元単
おうち しらべ 皆のお家	遠足 安倍川	見学 幼稚園の 周辺	中心となる 活動
	遠足 安倍川	見学 幼稚園 の周辺	行事
とびっく ら	ぬれたバ ンツは着 替える	爪の検査	健康
	・バスの利 用 ・お辨当の 後仕末	・幼稚園周 辺の建物 ・交通道徳 をまもる	社会
	川遊び めだかす くい、小 石、砂 川の土手 で虫取り	避害針	自然
・自分の町 名の発表 ・地図をか こんで	話し合い ・安倍川の 方向 ・今までに 行つた遠 足の場所	話し合い ・知つてい る大きな 建物 ・みて来た もの	言語
製作 皆のお うち			絵 画 ・製 作
リズム 虫取り おふろ ジャン ケン遊 び	うた 遠足	リズム おふろ 角力 虫とり	音楽 ・リ ズム
		・遠足のく わしいお たより	家庭 連絡
・建物の絵や 写真を出し ておく ・紙の用意	・地図の下絵 を描いて貼 つておく ・おうちを作 る紙の用意	・静鉄へバス の交渉 ・急救品替 他の用意 ・自転車で実 地調査	準 備

時間	幼児の活動	
	お辨当のない日(火・木・土)	お辨当のある日(月・水・金)
8.30	10分	登園挨拶 視診 出席カード
	60分	自由遊戯 <ul style="list-style-type: none"> 戸外遊戯 絵画製作 製作 リズム レコード鑑賞 ごっこ遊戯 その他
9.40	15分	お片付け
9.55	5分	お集り・御不淨
10.00	30分	主題による遊び <ul style="list-style-type: none"> 話し合い 学画作 絵画製作 ごっこ遊び
10.30	15分	戸外運動 遊具による運動
10.45	5分	お片付け・御不淨
10.50	25分	主題による遊び <ul style="list-style-type: none"> 音楽 リズム
11.15	15分	お帰りの時間 <ul style="list-style-type: none"> お話・ゲーム・紙芝居 反省・計画 連絡事項
11.30	30分	下園
12.00	30分	自由遊び <ul style="list-style-type: none"> 戸外運動 ごっこ遊び
12.30	15分	お片付け・御不淨
12.45	15分	お帰りの時間 <ul style="list-style-type: none"> お話・紙芝居・ゲーム 反省・計画 連絡事項
1.00		下園

左

同

食事の用意

食事

食事の後片付け

下園

◇ 月の計画と保育内容

年間計画は簡単に單元表という形で一応表わされるけれども具体的には、

- (イ) その月の單元は幾日間を取扱つたらいいか。
- (ロ) その月の單元の目標は何か。
- (ハ) その月の單元は目標に照らしてどんなに展開したらいいか。
- (ニ) 効果をあげたかどうか評価する。

などの項目について計画が立てられるべきであろう。單元取扱の目数は普通月単位か週単位であるが、カレンダーとにらみ合せて実際の保育日数で計画するのも一法ではなからうか。評価欄は必ず設け、しかも抽象的な表現ではなくて、なるべく子供の行動として現われる具体的なもので個々習的に表わしておくことが望ましい。

次に子供の好ましい経験について見る。これまで保育五項目とか十二項目とか称し、時には教科目中心的な考え方を取扱い方に陥つた向きも見受られる。保育の本領は子供に豊かな経験、好ましい経験を与えるに在る。学校の教育課程及び統制基準に関する法律案が文部当局により立案計画された時、幼稚園教育課程及指導要録協議会の発足を見、昭和二十四年度末には次のように答申された。

幼稚園の教育課程は学校教育法第七十七条及び第七十八条の目的及び目標を達成するための言語・社会・計算・理科・

音楽・絵画、製作其他を中心として行われる幼児の心身の発達に有益な活動とする。

蓋し、これに幼稚園が学校体系の一環となつたため上級教育に右倣えした形、或はカリキュラム研究の流行に余り眩惑されてしまつたと見られる。保育の理論的研究の上からは経験内容や指導内容の分折は必要であるが、科目的な学習的な保育は幼児教育上唾棄すべきであろう。その表現法の巧拙によつては保育の場に却つて大混乱を齎らす恐れなきにしも非ずである。其後、

幼稚園の教育課程及び活動は保健体育・社会・理科・言語・絵画製作・音楽に関する自由な経験及指導とする。

と改められたが、尙これでもすつきりしていない。最後案では恐らく次のように落ちつくのではなからうか。

幼稚園の活動及び経験は健康・社会・自然・言語・絵画製作・音楽リズムの領域に関するものとする。

要するに従来の項目や科目という表現を避けて、経験内容とか経験領域に関するものという表現を用いた所に苦心を拂つたと見る。この経験領域に基いて保育内容を発達系列とにらみ合せて計画表を作つてみると、年間計画は一層具体化されて月の計画(月案)となつてくる。

紙幅の都合で十二ヶ月分の月計画表を掲げることが、割愛し、御参考までに六月の計画表だけを掲げよう。

年間	生活領域	経 験 内 容												
社	生命の保護	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いを忘れない。 ・おべん当をよい態度で頂く。 ・体格検査、内診を秩序よく受ける。 ・雨の日の注意事項をまもる。 ・たべものについて話し合い、好き嫌を言わない。 ・早寝。早起きをはじめ、規則正しい生活をする。 ・病気にかからないようにするには、どうしたらいいか。話し合う。 ・たべすぎ、寝冷をしないこと、日向へは帽子をかぶって出ること等を守る。 ・駆虫剤、豫防注射等を嫌がらないでする。 ・咳は人の迷惑にならないようにする。 ・風邪について話し合い、鼻のかみ方、厚着をしないこと等を理解して行う。 ・廊下は走らない。 ・高い所へは登らない。 ・道路で遊ばない。 ・焚火、ストーブに注意する。 ・危険な場所や物へは近寄らない。 ・のりものに注意し、交通道德を守る。 ・汽車の窓などから手や首を出さない。 ・火遊びをしない。 ・水泳の注意を守る。 ・遊びに行く時は行先きを言う。 ・友達同志で危い所へ行かない。 ・遠くへ遊びに行かない。 												
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 828 922 982">生活領域</td> <td data-bbox="136 828 546 982">交 通</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・電車、バス、汽車、船を利用した場合には、乗り降りに気をつけ、秩序よく行う。 ・坐席を交替する、車内を汚さない。 ・乗物を利用するにはどうしたらいいか理解する。 ・駅の人のお働きをみる。 ・交通巡査の仕事を守る。 ・交通道德を守る。 ・乗物の種類、特徴を理解する。 ・荷物はどうして運ばれるか理解する。 ・おたよりをお家へ間違いないで届ける。 ・郵便屋さんの仕事を理解する。 ・おたよりを出す。 ・郵便物の大体の経路を理解する。 ・電話の利用価値を理解する。 </td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">厚 生 慰 安</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	生活領域	交 通	経 験 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・電車、バス、汽車、船を利用した場合には、乗り降りに気をつけ、秩序よく行う。 ・坐席を交替する、車内を汚さない。 ・乗物を利用するにはどうしたらいいか理解する。 ・駅の人のお働きをみる。 ・交通巡査の仕事を守る。 ・交通道德を守る。 ・乗物の種類、特徴を理解する。 ・荷物はどうして運ばれるか理解する。 ・おたよりをお家へ間違いないで届ける。 ・郵便屋さんの仕事を理解する。 ・おたよりを出す。 ・郵便物の大体の経路を理解する。 ・電話の利用価値を理解する。 </td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">厚 生 慰 安</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・電車、バス、汽車、船を利用した場合には、乗り降りに気をつけ、秩序よく行う。 ・坐席を交替する、車内を汚さない。 ・乗物を利用するにはどうしたらいいか理解する。 ・駅の人のお働きをみる。 ・交通巡査の仕事を守る。 ・交通道德を守る。 ・乗物の種類、特徴を理解する。 ・荷物はどうして運ばれるか理解する。 ・おたよりをお家へ間違いないで届ける。 ・郵便屋さんの仕事を理解する。 ・おたよりを出す。 ・郵便物の大体の経路を理解する。 ・電話の利用価値を理解する。 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">厚 生 慰 安</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	生活領域	厚 生 慰 安	経 験 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table>	生活領域	美 的 表 現	経 験 内 容
生活領域	交 通													
経 験 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・電車、バス、汽車、船を利用した場合には、乗り降りに気をつけ、秩序よく行う。 ・坐席を交替する、車内を汚さない。 ・乗物を利用するにはどうしたらいいか理解する。 ・駅の人のお働きをみる。 ・交通巡査の仕事を守る。 ・交通道德を守る。 ・乗物の種類、特徴を理解する。 ・荷物はどうして運ばれるか理解する。 ・おたよりをお家へ間違いないで届ける。 ・郵便屋さんの仕事を理解する。 ・おたよりを出す。 ・郵便物の大体の経路を理解する。 ・電話の利用価値を理解する。 </td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">厚 生 慰 安</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> ・電車、バス、汽車、船を利用した場合には、乗り降りに気をつけ、秩序よく行う。 ・坐席を交替する、車内を汚さない。 ・乗物を利用するにはどうしたらいいか理解する。 ・駅の人のお働きをみる。 ・交通巡査の仕事を守る。 ・交通道德を守る。 ・乗物の種類、特徴を理解する。 ・荷物はどうして運ばれるか理解する。 ・おたよりをお家へ間違いないで届ける。 ・郵便屋さんの仕事を理解する。 ・おたよりを出す。 ・郵便物の大体の経路を理解する。 ・電話の利用価値を理解する。 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">厚 生 慰 安</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	生活領域	厚 生 慰 安	経 験 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table>	生活領域	美 的 表 現	経 験 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 			
<ul style="list-style-type: none"> ・電車、バス、汽車、船を利用した場合には、乗り降りに気をつけ、秩序よく行う。 ・坐席を交替する、車内を汚さない。 ・乗物を利用するにはどうしたらいいか理解する。 ・駅の人のお働きをみる。 ・交通巡査の仕事を守る。 ・交通道德を守る。 ・乗物の種類、特徴を理解する。 ・荷物はどうして運ばれるか理解する。 ・おたよりをお家へ間違いないで届ける。 ・郵便屋さんの仕事を理解する。 ・おたよりを出す。 ・郵便物の大体の経路を理解する。 ・電話の利用価値を理解する。 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">厚 生 慰 安</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	生活領域	厚 生 慰 安	経 験 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table>	生活領域	美 的 表 現	経 験 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 					
生活領域	厚 生 慰 安													
経 験 内 容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">生活領域</td> <td data-bbox="136 990 546 1433">美 的 表 現</td> </tr> <tr> <td data-bbox="546 990 922 1433">経 験 内 容</td> <td data-bbox="136 990 546 1433"> <ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 </td> </tr> </table>	生活領域	美 的 表 現	経 験 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 									
生活領域	美 的 表 現													
経 験 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・庭やお部屋の掃除を手伝う。 ・皆の作品でお部屋を飾る。 ・お部屋へ類ぶちや絵を飾る。 ・お部屋へお花を飾る。 ・遊具、反古紙等のおかたづけを毎日する。 ・手洗い、御不浄をきれいに使用する。 ・下駄箱、傘立をいつも整頓しておく。 ・着物や持物を無暗に汚さないようにする。 													

會

<p>物の 消分生 費配産</p>	<p>自然及社会資 源の保護利用</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●花壇の手入れをする。 ●玩具、飼育する。 ●卒業製作をいろいろして残して行く。 ●お手伝いをする。 ●贈り物を作ってお世話になった人へ上げる。 ●田植、稲刈をみてお百姓さんの仕事を理解する。 ●どんな職業があるか、自分の家の職業を表 表してみる。 ●保育材料等を分配する。 ●保育用品、保育材料、遊具の使用法を考える。 ●どんなお店があるのか調べてみる。 ●いろいろの売買取っこの経験をもつ。 ●買物が出来るようになる。 ●お店、デパートがどんなに役に立っている か理解する。 ●物を大切に使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ●花壇や木を大切に作る。 ●バードデーのおはなしをきく。 ●つばめを可愛がる。 ●緑の週間のおはなしをきく。 ●蟬とりを行う。 ●雨が何故、降るのか考える。 ●水を大切に使う。 ●小・中学校へ見学に行き、勉強の邪魔にな らないよう気をつけてみる。 ●豊学校見学に行ってお世話になった先生に 御礼をいう。 ●狐ヶ崎遊園地等へ行ったとき、後は後仕末を きれいにし、入ってはならないところ、 木を折らないこと等の規則をよく守る。 ●お店屋さん見学をして大人の忙しい生活に ふれ、邪魔にならぬよう気をつける。 ●水族館、海水浴、動物園等の施設を利用する。 ●共同募金の話をきき、社会生活の相互依存 を理解する。
<p>交</p>	<p>政</p>
<p>際</p>	<p>治</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●新入生の世話をする。 ●知らない人にもお話が出来来る。 ●自分の名前、町名をいうことが出来る。 ●きかれたらいつでもすぐ返事をする。 ●相手のいうことをよくきく。 ●さよなら、お早よう、頂きます 一等の挨拶 ありがとう、ごめんさい、おめでとうを覚える ●新入生を誘って登園する。 ●歓迎会を開く。 ●お母様や年少組を招待する。 ●お母様や年少組を案内する。 ●お母や年少組に説明をする。 ●贈物を上げたり、頂いたりする。 ●お見舞の手紙をあげる。 ●お客様に行つたときの態度について話し合う。 ●お客様をお招きする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●仲よく遊ぶにはどうしたらいいか考える。 ●どういう事をしたら友達に嫌われるか考える。 ●話し合いをして事を決め、すぐ喧嘩をしない。 ●友達の見解、作品を尊重する。 ●グループをつくる。 ●お当番制をつくる。 ●生活のきまりを守る。 ●やくそくを守る。 ●どんなことをやりたいか希望をいう。 ●話し合いをする。 ●相談をして事を決める。 ●役割をきめる。 ●分業で仕事をしする。 ●協力して仕事をしする。 ●皆ではげみ表をつける。 ●並んで歩く。 ●順番に遊ぶ。 ●集いのよい態度をみにつける。 ●よい子の一日について考える。

これを幼児生活経験の種類（保育要領による）によつて考えれば次の如し。

六月	調 査	園 外 保 育	戸 外 運 動	身 体 的 習 慣	評 価
健康	<ul style="list-style-type: none"> ・身長、体重測定 ・歯の検査 ・睡眠時間調査 	清水山遠足 おたまじやくしす くい	ハンカチ落とし かくれんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがき ・雨具の使用 ・梅 雨 ・きまりよい生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯みがきの習慣はついたか。 ・濡れたままでいなくて直ぐ拭くことができるようになったか。

六月	経 験 内 容	自 然 観 察	時 季 の も の	数 概 念	評 価
自然	時計屋さん見学 雨ふり かたつむり探し おたまじやくし すくい 野菜、果物を買 つてきてあそぶ	いろいろの時計 (形、種類、音) お天気表 (晴、雨、曇) 虹、プリズム、かたつむり おたまじやくし、めだか、貝、 えびかに びわ、大根、人参、ごぼう、玉葱、 キヤベツ、いも其他の形、色、味	毛 虫 みみず 梅の实 百 合 あじさい 糊のかび	数える お天気表 時計のなる音 音当て遊び 操作 物の売買をする 時間 お辨当の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・汚ないと思つたりしないで、ど んどん実物をつかむことができ るか。 ・すんだら手洗いをすることを忘 れないか。 ・物の変化に驚きを感じたか。 ・実物について数えられるか。

六月	話 し 合 い	・時計屋さん見学 ・お店やさんの 応対 ・雨の日について ・おたまじやくし をかこんで ・時季の野菜と、 果物について
発表	・時計屋さん で見た もの ・時計屋さん で作りた いもの	・時計屋さん で見た もの ・時計屋さん で作りた いもの
劇あそび	野菜劇 おつかい ことばあそび 野菜の名前	野菜劇 おつかい ことばあそび 野菜の名前
絵本	時計の絵本 いろいろ	時計の絵本 いろいろ
絵 画	ぴよん太郎 かにのえん そく 金魚と どじよう エデンの お人形	ぴよん太郎 かにのえん そく 金魚と どじよう エデンの お人形
おはなし	時の記念日 ジャックと 豆の木 赤いめんどろ 雨もり ぶんぶく茶釜 ひようたん ラジオ	時の記念日 ジャックと 豆の木 赤いめんどろ 雨もり ぶんぶく茶釜 ひようたん ラジオ
評 価	・ありがとう、さよならなど のあいさつができるか。 ・先生対グループの話し合い ができるか。	・ありがとう、さよならなど のあいさつができるか。 ・先生対グループの話し合い ができるか。

六月	絵 画	時計屋さん 雨ふり かたつむり おたまじやくし 野菜
図 案	大時計 看板の飾り	大時計 看板の飾り
評 価	のびのびと大きく描く ようになったか。	のびのびと大きく描く ようになったか。
積 木	時計屋さんの お店	時計屋さんの お店
木 工		
粘 土	野菜	野菜
自然物利用	野菜	野菜
製 作	腕時計、目覚時計、ふくろう時計、柱時計、鳩時計、大時計、看板、お金、アンテナ、石段	腕時計、目覚時計、ふくろう時計、柱時計、鳩時計、大時計、看板、お金、アンテナ、石段
種 類	立 体 貼紙、剪紙 ちぎり紙	立 体 貼紙、剪紙 ちぎり紙
評 価	あとかたづけが上手にできるか。 粘土の正しい取扱いや後始末ができるか。 作品の巧拙の判断が正しくできるか。	あとかたづけが上手にできるか。 粘土の正しい取扱いや後始末ができるか。 作品の巧拙の判断が正しくできるか。

音 樂 リ ズ ム		六 月
四拍子 アンダンテ アレグロ	基礎練習	レコード鑑賞 き
時計やさん 雨の日	表現	評価 く
大時計、柱時計、目 覚時計、鳩時計等の 表現 雨、おたまじやくし、 蛙、かたつむり等の 表現	あそび	歌 う
お使い	ゲーム・ダンス	既習・歌 た
どなたの 細道 スキップ いろく	既習のゲーム	評価 う
ほたる	唱歌遊戯	楽器あそび ひ
曲に合わせて 表現できるか。	評 価	評 価 く
		時計屋の店に て 蛙の行列
		手拍子や足拍 子がとれるよ うになつたか
		時計 ほたる 雨
		鳩時計 かたつむり おたまじやく し かえるの子 雨だれ
		言葉をはつき りと歌えるよ うになつたか
		四拍子の歌や 曲の ・自由打 ・拍子打
		楽器を大切に取扱う ことができるか。

◇ 指導の要領

指導要領とはどんなものか、またどんな役割をもつものか。この解説を易くするために私は卑近の例をあげてみよう。御料理をつくる場合、色々の材料を取揃え腕前を振つて滋味豊かな御馳走を作つても、その人に向く味をつけなければ拙角の御馳走はまづいとけなされてしまう。この好ましい味付即ち御馳走の塩加減というものはその人その人によつて異なり仲々難かしい。丁度カリキュラムがこの御馳走に当り、指導要領がこの味付け、塩加減に相当するのではないかと思う。

上級学校に於てはこれを学習指導要領コース・オヴ・スタデーと謂つてゐるが、幼稚園では学習指導するのでないから学習指導要領と謂つては当を得たものとは謂えまい。生活指導や保育するのであるから、保育要領と謂うべきであろう。ところが、既に保育要領という本は使用している。同一名称の本が二冊あつたらばまぎらわしいことになるだろう。そこで私は幼児の生活を指導するという意味で「指導要領」と名付けてみた。幼稚園用の意味をもたせて「幼児指導要領」と謂えば、はつきりすると思う、近々「幼児指導要録」が従来の園籍簿にとつて代つて公にされると聞く——本誌が御手許につく時までには公示される予定——、そうすると語呂の似たものが二つになるから、又まぎらわしいことになる。指導書の名称を決めるにも仲々むづかしい。とにかくコース・オヴ・スタデーではなくて、コース・オヴ・ナーサリーの意味をはつきりもつ指導書を渴望する。学校教育法などから推してみて当然こういう指導書が刊行されなければならぬかと思う。

既刊の「保育要領」は久しい前から改訂するようなことを耳にしている。「音楽と動きのリズム」について研究協議会や講習会が既にあつたので、改訂の着手したものとおぼろげながら察知することが出来る。改訂保育要領を私の謂う指導要領に充用するならするで、一日も早くはつきりと公示してほしい。此際私はこういう提案をしたい。既刊の保育要領は次の二つの方向を以つて改訂し別冊に公刊したら如何。一つの方向は家庭教育向け、幼稚園や保育園の案内書・手引用に改訂する。他の方向は私の謂う指導要領コース・オヴ・ナーサリーという指導書用に改訂する。今日、保育実践家の齊しく渴望しているのは後者の指導書であることを強調して欄筆することにする。